

伊那西小 学校だより

No8

令和7年11月25日
伊那西小学校
0265-72-2632

11月は「なかよし月間」です。児童玄関には「なかよしの木」が設置されています。子どもたちが「友だちにしてもらってうれしかったこと」などを書いた紙を貼れるようになっていきます。学校中に友だちのやさしさが広がるといいなあと思います。

11月の校長講話

今日のなかよし月間というお話は小学生のみんなに話しますが、大人も含めて人間誰もがいつでも学んで成長している内容です。

私は今掛け算は間違えません。でも、人権という、なかよしにするということは、たまに間違えてしまう。いつまでたってもうまくやれないということも多いです。君たちができるのに、

私たちにはできなかった、ということもあるのです。「ああ、すごいな、みんな」と思って、自分ができなかったな、ということもある。今日はそんなお話です。



今日はすこし むずかしい お話なんです

じんけん

最初に「人権」とは

「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」

やっていいと
いうこと

令和4年(3年前)

1年目はこんな話をしました。「人権って何だろうな」。難しいお話ですよ。ね。「権利」というのは「やっていい」ということです。何をやっていいかという、人間が人間らしく、という、すごい簡単そうなのに難しい話でした。また、何があるかと「いじめはダメなんだよ」という話でした。人が人として生きることができないからです。

私は、伊那西小学校に来て今年で4年目なんです。毎回この時期に人権の話をさせてもらうので、振り返ってみようと思います。「あんな話あったかな」と思える人もいるかもしれないので、思い出してください。

人権をまもることをするのは、かんたんです。人が人としていけることができるかどうかを考えれば良いのです。

質問の答えに関係なく

「いじめはだめ」です。

人が人として
生きることが
できないから



令和4年(3年前)



令和5年(2年前)

11月は「なかよし月間」です。「おもいやり」をたいせつに

2年目は、ちょうど防災訓練もあったから、それも含めて、自然の中でどう人らしく生きれるか、という話をしたかと思います。東日本大震災の時、こんな瓦礫の中を通わなければいけないところや、そこを助けに行った人たちがいる。そのような話の中で、みんなに「助け合っていこうよ」と話したかと思います。

去年はどんな話をしたかという、1年生以外は聞いたと思うけど覚えていますか？気に入らない人を消せる「独裁スイッチ」のマンガから、人はみんな一緒にいるから、迷惑をかけているからといって消してしまえばいいわけではない。実は大人になると、もう迷惑をかける人には「これ、やめなよ」なんて言われなくなってしまう。自分たちでしっかりしていかないといけないよね、大人になってもうまくいかないの、友達とか人を大切にできるようにしましょうね、なんて話をしました。



先生の考える、人のせいちょうと人とかかわり

人にめいわくかける子がいたら



保育園 あまりかんげい ない 一人あそびが おおい	低学年 おこる げんかする 先生にう	高学年 だめだよと いったり しかたないなど かんがえたり	中学生 なかまに ならない
---------------------------------------	-----------------------------	---	---------------------

令和5年(1年前)



みんなが ちがう よさ が あるな

そんな話を今日したいんです。例えば、昨日4年生にアンケートを取りました。今、腕を怪我してしまった子がいる。その子を助けるために何かしたことがあるか聞いてみました。その子からさりげなく助けてもらったことが「とても嬉しかった」という話を聞いたからです。

もう一つ聞いたのは、普通の生活の中でやさしくしてもらったり、助けてもらったりしたことです。具合が悪いから心配してくれるというのもあるけど、教えてくれたり、届けてくれたり、「ありがとう」とか。一つ一つのことが、言わなくても相手を思っていてくれる。いろんな姿を書いてくれました。

最初に言ったことなんだけど、これって子供が勉強することだけじゃないんですよ。大人でもそうだと思います。大人になったら喧嘩がないかという全然そんなことはなくて、世界ではもっと悪い、戦争をして人を殺してしまう。そんな姿もあるぐらいだから、本当に一生勉強していかなければいけないのが、この「人との関わり方」「人権を守る」「人に優しくする」ってことなんです。

実際、先生たちも勉強しているんです。これは大学の先生からの講義ですが、「見方を変える」という言葉を「リフレーミング」と言っています。例えば、「5分しかない」というのか、言い方を変えて「まだあと5分あるな」と言うのかによって、ずいぶん5分間の感じ方が違いますよね。言葉を変えることがリフレーミングなので。この時のお勉強は、先生としてみんなにかけてあげる言葉のかけ方が随分変わるよ、という話でした。「チクチク言葉」（嫌な言葉）になってしまうか、「ふわふわ言葉」（ほっこりするような言葉）になるのか。同じことなのに違う、という例を挙げてみます。

例えば、クラスでテストをやっている。みんなが終わって前に出したのに、いつまでもやっている人がいる。「あの子一人だけやってるよな。何でできないの?」と言ってしまったとしたら心に刺さる言葉になります。もっと優しい言葉にするとなんだろう? <子どもたちから>「頑張って」「頑張ってるね」～。なるほど、先生が考えたのは、「とっても丁寧なんだね」とか、「諦めずにやってるね」とかですね。「遅いな」と言っちゃえば嫌な言葉になってしまうけど、「丁寧にやってるし、諦めないし、僕もう嫌で出しちゃったのに偉いな」というような言葉にすれば、同じ状況でもずいぶん違うと思います。

私たちも一緒に勉強していきます。みんなもぜひ、なかよし月間で勉強してほしいんです。今朝撮った林間の写真ですが、紅葉が始まっていて、色々な色があって綺麗だと思います。まだ緑なものもあるし、黄色くなったものもあるし、オレンジになったものもあるし、真っ赤なやつもいる。それぞれの色があるから、私たちを楽しませてくれるんじゃないかな。

先生の願いは、みんな違う生き方があるので、違いはいいことです。ただ、76人いる学校なので、誰もが気持ちよく学校生活を送ることができるとを願います。大人は今「人権月間」ということを考えて、みんなは「なかよし月間」を一緒に考えて、楽しい時間を過ごせるようになるといいな。今日も聞いてくれてありがとう。

伊那西小学校 秋の学び・活動の姿から



11/1 音楽会

子どもたちは練習の成果をのびのびと発揮し、歌い、演奏し、表現しました。PTA合唱の熱い歌声も、子どもたちの心にしっかりと届いていましたね。音楽会が終わっても、歌声が聞こえてくる伊那西小学校です。



11/19 森の教室に感謝する日

森の教室の木材は放っておくと傷んでしまいます。メンテナンスしていくことが大切です。今年も、全校で森の教室を心をこめて磨き上げました。



11/21 福祉体験教室

5・6年生ブラインドサッカー講師として〇〇さん、3・4年生の高齢者疑似体験講師として伊那市脳いきいき教室の皆さん、1・2年生のモルック体験講師として伊那市社会福祉協議会の皆さんをお招きしました。福祉の考えが深まる貴重な体験ができました。

地域の皆様と共に「総合展」開催



11月15日（土）、伊那西公民館教養部・総務部の皆様にご尽力いただき、体育館には地域の皆様の素晴らしい作品が展示されました。子どもたちは目を輝かせて鑑賞をしていました。校内の子どもたちの展示も、子どもたち同士で観合ったり、保護者や地域の皆様等たくさんの方が鑑賞してくださいました。

講演会・ワークショップは、人を繋ぎ・音で旅する歌うたい「イマジン盆踊り部」唄い手の〇〇さんをお招きし、日本のいろいろな土地に昔から伝わる唄を歌ったり踊ったりしました。子どもたち、PTAや地域の皆様も一緒に参加でき、林間が笑顔でに包まれました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

お知らせとお願い

<12月より冬日課となります>

各学年の学年日よりでもお知らせしています通り、12月より冬日課となります。チャレンジタイムがなくなり、月・火・木・金の下校は15:40になります。（水曜日は変わらず15:25です。）

<スクールカウンセラーとの懇談>

〇〇スクールカウンセラーが、毎月学校訪問をしてくださいます。保護者の皆様もご希望があればいつでも懇談ができます。カウンセラー学校訪問日の2週間前までに学校（担当：特別支援コーディネーター 〇〇）まで連絡をお願いします。

【スクールカウンセラー訪問日】12月5日（金 午前）1月9日（金 午前）2月20日（金 午前）

☆心配なこと、不安に思われること等ございましたら、どうぞいつでも担任、学校までご相談ください。よろしくお願いいたします。